

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第34週 (ARIのみ第33週) の発生動向

□トピックス

・インフルエンザ(定点把握対象疾患)

第34週(8/17～8/23)の県内定点当たりの報告数が1.3となり、流行開始の目安(1)を超えた。昨年と比較して6週間早く、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

□ 全数報告の感染症 (34週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：百日咳2例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	都城	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		日向	70歳代	男	肺結核	咳、痰、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	宮崎市	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O128(VT1,VT2)
			40歳代	男	—	腹痛、水様性下痢、その他、O157(VT2)
5類	百日咳	延岡	5～9歳	女	—	持続する咳、嘔吐
		高鍋	5～9歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は237人(定点当たり15.7)で、前週比120%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

また、第33週の急性呼吸器感染症の報告総数は754人(定点当たり26.9)で、前週比80%と減少した。

【インフルエンザ】

報告数は35人(1.3)で、前週比140%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.08)の約16.6倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

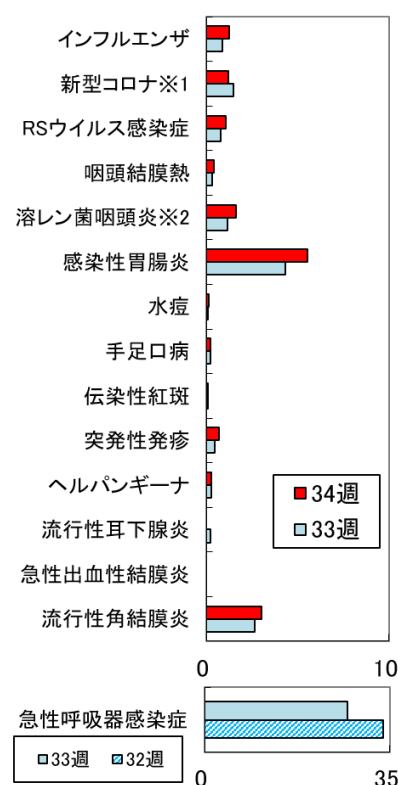
報告数は24人(1.6)で、前週比141%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約1.3倍であった。年齢群別は7歳が全体の約3割を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は83人(5.5)で、前週比128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.3)の約0.9倍であった。年齢群別は1歳から5歳が全体の約半数を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015～2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

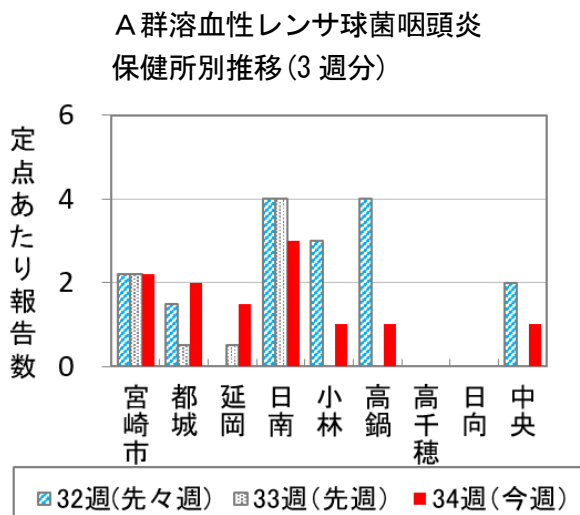
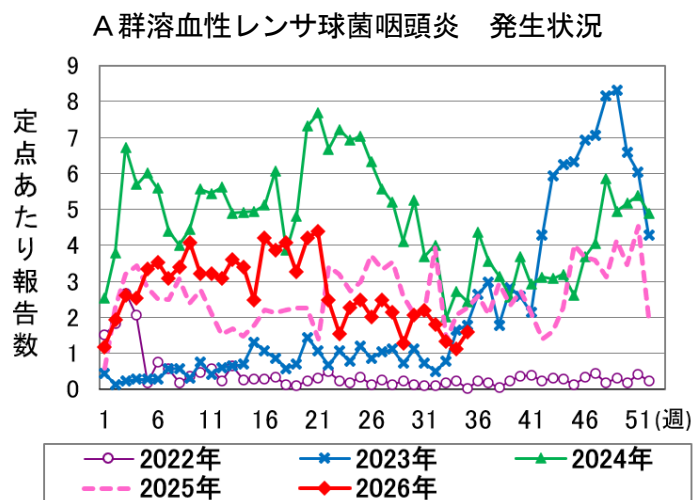
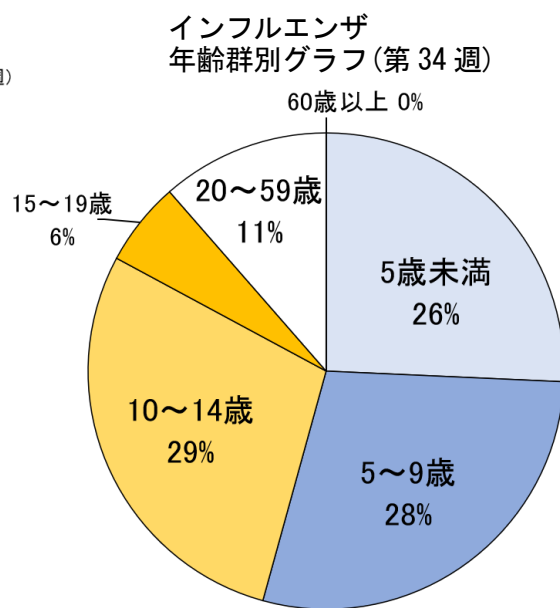
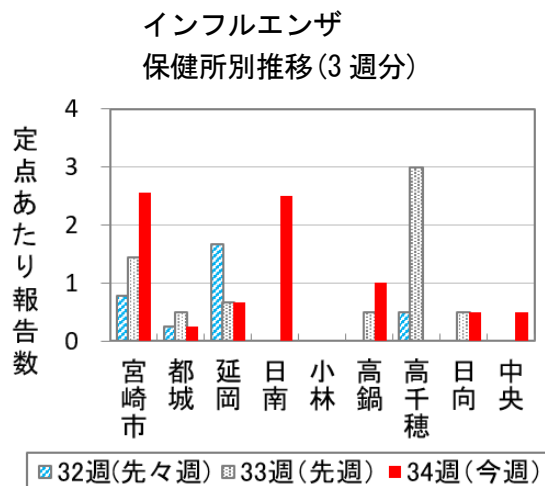
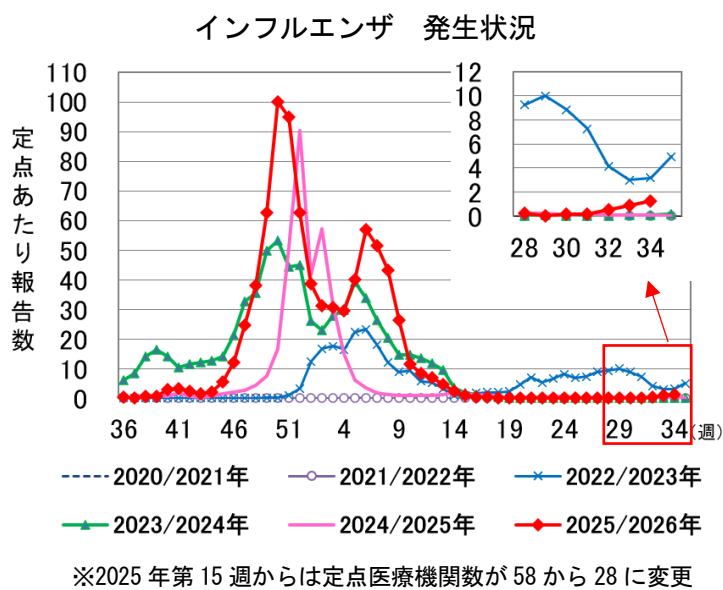
《前週との比較》



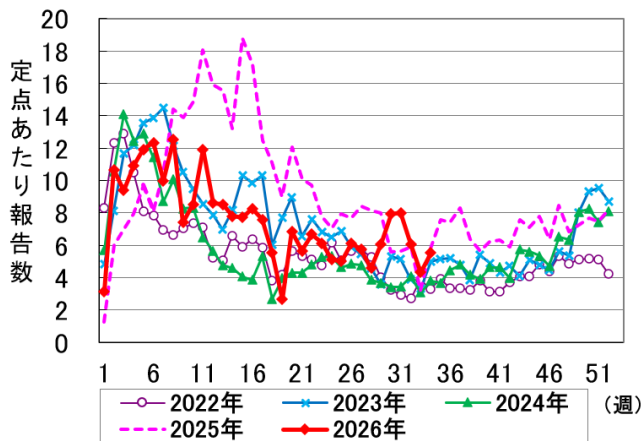
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎 発生状況



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 2 例(定点当たり 0.29)で、いずれも宮崎市保健所から報告があった。年齢は 0～4 歳が 1 例、5～9 歳が 1 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	流行性角結膜炎(13.0)
日南	なし
小林	なし
高鍋	水痘(1.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

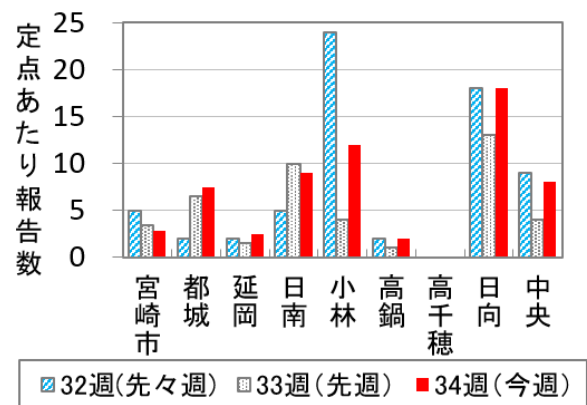
・流行性角結膜炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

感染性胃腸炎 保健所別推移(3 週分)



□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(第 33 週:8 月 10 日～8 月 16 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		2
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
検出せず※2			5
受付検体数			8

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※¹サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

✚ 全国 2026 年第 33 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	185 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	178 例		
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	8 例	エキノкокクス症	1 例
	エムボックス	4 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例	デング熱	7 例
	日本紅斑熱	6 例	マラリア	1 例	レジオネラ症	45 例
5類感染症	アメーバ赤痢	2 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例	後天性免疫不全症候群	14 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	14 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	29 例	水痘(入院例)	12 例	多剤耐性緑膿菌感染症	5 例
	梅毒	105 例	播種性クリプトкокクス症	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例
	百日咳	28 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 63%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 68%と減少した。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 3,896 人(1.1)で前週比 63%と減少した。島根県(5.2)、鳥取県(2.8)、香川県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約半数を占めた。

手足口病の報告数は 5,047 人(2.4)で前週比 51%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.8)の約 0.6 倍であった。岩手県(6.9)、宮城県(6.7)、北海道(6.6)からの報告が多く、年齢群別では 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の
当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第33週	第34週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	25	35	23	1	2	5		2		1	1
	定点当り	0.89	1.25	2.56	0.25	0.67	2.50	0.00	1.00	0.00	0.50	0.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	41	33	2	2	6	4	3	9	4	2	1
	定点当り	1.46	1.18	0.22	0.50	2.00	2.00	1.50	4.50	2.00	1.00	0.50
RSウイルス感染症	報告数	12	16	4	6	2			2			2
	定点当り	0.80	1.07	0.80	3.00	1.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	5	6	3	2	1						
	定点当り	0.33	0.40	0.60	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	17	24	11	4	3	3	1	1			1
	定点当り	1.13	1.60	2.20	2.00	1.50	3.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.00
感染性胃腸炎	報告数	65	83	14	15	5	9	12	2		18	8
	定点当り	4.33	5.53	2.80	7.50	2.50	9.00	12.00	2.00	0.00	18.00	8.00
水 痘	報告数	1	2	1					1			
	定点当り	0.07	0.13	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	3	3	1		1						1
	定点当り	0.20	0.20	0.20	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	1	1	1								
	定点当り	0.07	0.07	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	7	10	3		3	1	2			1	
	定点当り	0.47	0.67	0.60	0.00	1.50	1.00	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	4	3		1						
	定点当り	0.27	0.27	0.60	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3										
	定点当り	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	16	18	3	2	13						
	定点当り	2.67	3.00	1.00	1.00	13.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	2	2								
	定点当り	0.14	0.29	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第33週(08月10日～08月16日)

		第32週	第33週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	944	754	182	118	125	71	14	54	81	64	45
	定点当り	33.71	26.93	20.22	29.50	41.67	35.50	7.00	27.00	40.50	32.00	22.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～34週 保健所受理分)

2類感染症	結 核	90例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	45例(2)				
4類感染症	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例	つつが虫病	4例
	日本紅斑熱	9例	レジオネラ症	11例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例
	急性脳炎	1例	クリプトスポリジウム症	1例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例	侵襲性肺炎球菌感染症	9例
	水痘(入院例)	6例	多剤耐性緑膿菌感染症	2例	梅 毒	42例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例	百日咳	51例(2)
	麻しん	1例				

()内は今週届出分、再掲